

「除菌後発生胃癌の臨床的特徴の検討」 に対するご協力をお願い

研究責任者 森 英毅
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 内科科学教室(消化器)

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2012年1月から2024年8月に慶應義塾大学病院において慶應義塾大学病院でピロリ菌除菌治療を受け、その後2024年10月までに新規に胃がんと診断されたピロリ菌除菌時18歳以上の患者様。

2 研究課題名

承認番号 20241158

研究課題名 除菌後発生胃癌の臨床的特徴の検討

3 研究組織

研究代表者

慶應義塾大学医学部内科学（消化器）専任講師 森 英毅

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、ピロリ菌を除菌した後に発生する胃がんの特徴を調べることです。ピロリ菌の除菌は、胃がんの予防に効果的ですが、除菌後も一部の患者さんに胃がんが見つかることがあります。本研究では、過去にピロリ菌除菌治療を受けた患者さんの診療記録をもとに、除菌時の病歴や体の状態と、除菌後に発生した胃がんの特徴を比較し、除菌後の胃がんのリスクを減らすための情報を提供することを目指しています。

5 協力をお願いする内容

患者様に新たに何らかの協力・負担をお願いすることはいたしません。

具体的には、以下の情報を診療録より抽出いたします。

性別、除菌時年齢、除菌前最終内視鏡日、除菌対象疾患、萎縮性胃炎の進展度（木村竹本分類・京都胃炎分類）、最終除菌処方日、除菌回数、除菌成功の確認の有無、年齢（癌発見時）、癌がない最終内視鏡日、胃癌発見時内視鏡日、胃癌の部位（UML）、形態、大きさ、深達度（病理）、組織型（病理）、最終病期、年齢（治療時）、手術実施日、術式（手術 or 内視鏡治療）、除菌前内視鏡から癌診断内視鏡までの年数、癌がない最終内視鏡日から胃癌発見時内視鏡日までの年数

これらの情報をもとに、除菌後発生胃癌の臨床的特徴の検討を行います。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

・慶應義塾大学病院から外部への試料・情報の提供はありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院における問い合わせ窓口

研究機関名： 慶應義塾大学医学部 所属：内科学（消化器） 氏名：森 英毅

住所 東京都新宿区信濃町 35

電話： 03-5363-3790

FAX： 03-3353-6247

以上